

システム連携地方版「多用途MaaS」構築プロジェクト

昨年度から実施している観光・生活MaaSを広域化・高度化するため、他地域のMaaSとの連携や、新型コロナウイルス等のリアルタイムな情報反映、店舗等との連携強化、需要創出するチケット発券などを行う。

協議会の 構成員	【幹事】(株)ケー・シー・エス、会津乗合自動車(株)、会津鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)デザインウム、日本電気(株)会津イノベーションセンター、アルプスアルパイン(株)、三菱商事(株)、会津若松市、福島大学	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の需要と合致したフリーパスや企画乗車券の販売ができていないことや、他地域のMaaSとの未連携、オンデマンド交通と定時路線を組み合わせた複合経路検索の未整備等、交通サービスの利便性の低さ ● 施設・店舗等の営業・混雑状況の配信等交通サービス以外のサービスと連携したMaaSが提供できていないこと ● 自然災害や新型コロナウイルス等の緊急時・災害時において迅速に情報の配信を行える体制が整っていないこと 	
取組の概要	期間	2021年2月4日～3月31日
	エリア	福島県会津若松市、喜多方市、猪苗代町、磐梯町、北塩原村、会津美里町、会津坂下町、湯川村、柳津町、下郷町、南会津町
	MaaSシステム	MaaSアプリ「Samurai MaaS」及び、連携基盤システム（リアルタイム情報反映、店舗・施設情報連携など）を独自に構築（一部機能は連携する他地域のMaaSで構築）
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 相乗り型のオンデマンド交通の導入 ● 鉄道や路線バス等のデジタルフリーパスの販売（広域観光エリア、鉄道＋バス、観光周遊バス） ● 路線バスの位置情報や混雑情報の配信
	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 店舗や史跡等の営業情報の配信 ● デジタルフリーパスの提示による特典（観光施設や店舗等の割引等）付与
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ● リアルタイム情報反映による公共交通の利便性向上の検証 ● 店舗・施設情報との連動による波及効果の検証 ● 窓口・乗務員の対面負担の軽減の検証 	

取組イメージ

MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ



会津におけるMaaSアプリ「Samurai.MaaS」

※今後MaaSアプリとの連携検討

連携基盤システムの構築

運行情報のリアルタイムな反映システム及び、データ可視化ツール

店舗・施設等情報の管理システム（POI CMS）

オンデマンドによるチケット発券システム

共通チケット発券システム

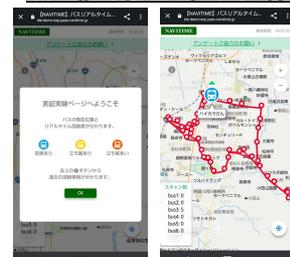
デジタルフリーパス



店舗施設情報表示



混雑情報表示（アプリ外）



検証結果
<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時等の急な運休・ダイヤ変更・経路変更の際に、HPやアプリ上でリアルタイムに情報発信できることで、利用者が行動・移動する前に正確な情報を得ることができるようになった ● 店舗・施設側で営業情報等を容易に入力・更新でき、交通チケットと連携しやすくなった ● 事前決済のデジタルチケットにより、窓口・乗務員による販売・清算の負担が軽減した
今後の方向性
<p>今年度の結果を踏まえ、下記事項の見直しを図りながら、実装・実運用に向けた取組を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リアルタイム情報の発信チャンネル（HP、アプリ、サイネージ等）を増やす ● 店舗・施設とより深い連携を図って、連携した様々な交通チケット販売を目指す ● AIオンデマンド交通実証等とのアプリ上での連携を図る ● その他（MaaSアプリから得られるデータ分析、活用・取り扱いルール・ガイドラインの検討）